



2024年1月4日

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社
代表取締役社長 佐藤 厚範

2024年 年頭所感 要旨

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆さまならびにそのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

太陽光発電所の運営・維持管理サービスを展開するオリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社は、オリックスグループが運営するメガソーラーをはじめ、日本全国で計160カ所（650MW）の太陽光発電所の運営・維持管理業務（O&M）を受託しています。発電量の最大化と運営・維持管理費の低減をコアバリューとして掲げ、予防保全型のメンテナンスやAIなど先進技術を活用したO&Mのデジタル化で発電事業主さまの売電収益を改善しながら発電コストの低減に寄与してきました。

当社は2023年8月に創立5周年を迎えました。今後の業容拡大を見据え、組織体制と業務フローを構築すべく、CMMS（設備また保安全管理システム）を導入したほか、品質面では品質マネジメントシステム（QMS）の国際規格であるISO9001認証の再認証審査を完了しました。あわせて、人が最も重要な資本であるという考えのもと、そしてSDGsにおける「働きがいも経済成長も」を実現すべく、社員のキャリア形成やワークライフバランスを支援する人事制度を導入しました。社員の多様な働き方や仕事を通じた成長を支援する研修、資格取得支援としての教材支給などの取り組みが実を結び、Great Place to Work® Institute Japan が世界共通基準で実施する従業員意識調査において「働きがい認定企業」に2年連続で選出されています。

当社は本年も、コーポレートスローガン「エネルギーコントロールで一步先の未来を創り出す」に向けて、さまざまな取り組みを推進してまいります。オリックスグループをはじめ、外部の発電事業主向けのO&M、そして今後さらなる拡大が見込まれるコーポレートPPAなどの非FIT太陽光発電所や蓄電所のO&Mなどを通じて、将来的には1.5GWpの受託量を目指します。

2050年カーボンニュートラル社会の実現には、再エネの主力電源化が不可欠です。当社は高効率な発電所運営に使命感を持って取り組むことで、再生可能エネルギーの普及促進と、社会インフラである電力の安定供給に貢献し、次世代が安心して暮らせる未来を創っていく所存です。

本年も皆さまの一層のご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとりましてご多幸な一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社 TEL : 03-6666-7501